

市政活動報告

発行者 おおいた民主クラブ 発行責任者 代表 井手口良一 事務局・大分市荷揚町2-31 大分市議会気付 電話番号(代表) 097-534-6111 FAX 番号 097-537-5755

ご挨拶

統一地方選挙が終了し、大分市には佐藤樹一郎新市長が誕生しました。選挙の関係で今年度第2回の定例議会は例年より遅くなり6月29日から7月17日までとなりました。

新市長の誕生という事で、代表質問は会派の代表であるわたしの役目となり、7月8日に登壇しました。その論議については視点・論点・問題点で報告させていただきます。

佐藤新市長はよく通る声と滑舌の良い言い回しで、元官僚らしいそつのない答弁を繰り返し、初舞台を無事に務めきりました。大方の合格点を得たようです。

ただし、自分の選挙の時の後援会の事務局長を前例のない職責と報酬で市役所の嘱託職員にしたり、国の事業であり、実現の可能性のない豊予海峡プロジェクトに、1千万円もの調査費を市の単独事業として計上したりと、今後に火種を残すことになりました。特に課長職を1年しかもたずに、早期退職をせざるを得なかったような元職員を、後援会の事務局長をしてくれたからといって、部長職経験者でもおいそれとはもらえない給料で、市長室に入れたのには、いわば後援会を市の税金で運営するようなことにならないか、市議会議員だけでなく、多くの職員たちの批判や不満の的になりつつあります。今後の動向について、注視していきます。 井手口良一



7月8日(水)午前10時から登壇しました。

視点・論点・問題点

質問-1. 市長の考える都市像とまちづくりの方法論

①国の推進する「創造都市」をどのようにとらえ、大分市政に取り入れて行こうとしているのか？

市長答弁

今こそ「創造都市大分」を実現する絶好のチャンスと捉え、様々な分野の交流により、地方への新たな人の流れを創出できるよう努めたい。

井手口の視点

創造都市(Creative City)とは、21世紀初頭にふさわしい都市のあり方の一つであり、文化芸術と産業経済が密接にリンクして創造性に富んだ都市のことです。大分市も昨年8月に創造都市ネットワークの参加構成員になりました。行政と、芸術家や文化人、企業、大学、住民などの連携のもとに、芸術や文化を取り入れた運動を、まちづくりや地域経済浮揚の起爆剤にして行きます。



市の職員の発案で始まったトイレナーレが開催されています。トイレをアートの空間に変えようという発想がユニークで注目されています。創造都市大分の出発の年にふさわしいイベントで、今後の発展に期待するところです。

②大分市の基礎的財政収支について、どのような基本姿勢で臨もうとしているのか？

市長答弁

基礎的財政収支（プライマリーバランス）については、今後とも黒字を確保して将来的な負担軽減を図るとともに、各種財政指標の動向にも十分留意しながら健全な財政運営に努めていく。

井手口の視点

基礎的財政収支は主要な財政指標であり、それを無視した予算編成は、いずれ財政破綻を招くこととなります。

③大分市の今後の公共投資額（普通建設事業費）の水準について、どのような考えか？

市長答弁

本年度の普通建設事業費は212億円であり、今後とも現行水準を確保できるよう努めたい。

井手口の視点

公共投資が地域経済の浮揚にとって、最も効果的で直截的な施策であることは論を待ちません。高橋是清や米国のケインズ、戦後の下村治などの考え方も、その根幹は赤字財政を厭わずに公共投資と金融緩和を図ることでした。

人口の急激な減少期に入り、現行の税制度下では税収も減少することになります。しかしながら自治体の厳しい財政状況だからこそ、公共投資の総枠を今後も200億円程度は確保していくべきだとわたしは考えています。

④市長の主張する「市民のために汗をかく柔軟で無駄を省いた市政」を実現するために、最も重視するものは何か？

市長答弁

市長を先頭に職員が市民のために一生懸命汗をかいて仕事をし、行政改革を推進して、市民に信頼される市役所を作ることが大切である。

そのためにも職員との対話や意見交換を積極的に行いながら、市民のもとへ出向き、その声に耳を傾け、思いを受け止めていきたい。

⑤個人情報に関係各課で共有し、さらに社会福祉協議会や消防団などの機関、自治委員や民生児童委員など地域役員、警察など他の行政機関との情報交換

を迅速かつ有機的に行えるような、庁内システムの構築と職員の共通認識が必要と考えるが、市長の考えは？

市長答弁

外部との連携に当たっては個人情報の取り扱いに起因する負担が軽減されるよう支援していきたい。職員に対しては個人情報の保護への配慮とともに、個人情報の適正な利用提供について正確な知識を周知徹底していく。

井手口の視点

全庁的、あるいは複数の課が協働して対処すべき事案を、個人情報保護を楯にして無作為の言い訳にすることは許されません。

⑥女性管理職を増やすための問題点は何で、それをどのような手段で解消しようと考えているか？

市長答弁

女性を取り巻く諸課題について、自己申告書、所属長ヒアリング、人事評価制度などを通して把握する。女性が能力を発揮しやすい職場環境づくりのため、職員全体の意識改革を促し、女性職員の育成と登用を推進していきたい。

井手口の視点

女性の管理職が少ないのは、女性の能力や意欲の問題ではありません。家庭内での時間的制約が重くのしかかっているため、責任の重いポジションに着くことにどうしてもためらいが生じてしまうという一面があるのです。この点を解決しない限り、女性の管理職登用は掛け声だけに終わってしまいます。

⑦県との連携を図るうえで、中核市としての分権自立の意識、県都や連携中枢都市の中心市としての、他都市との連携をどのように考えているか？

市長答弁

県との間で設置した「協議の場」で、主張すべきことはしっかりと主張していく。県都や連携中枢都市としてのリーダーシップを発揮していく。

井手口の視点

市と県が連携して協働体制を構築していくこと自体は歓迎します。ただ協働も連携も、一方が一方の言うなりになるというものではありません。

大分市は中核市であり、県都として県内18市町村

の代表でもあります。さらに連携中枢都市圏を構成する他の6市町への連帯感とリーダーシップを発揮することも忘れてはなりません。

⑧リニアモーターカー新幹線と第2国土軸構想、豊予海峡プロジェクト構想の実現までのロードマップ(行程表)は？

市長答弁

豊予海峡ルートプロジェクトは、本市のみで行うような事業ではなく、国や県、各種団体と幅広く連携しながら推進していくべきものである。まずは機運の醸成に取り組んでいきたい。

井手口の視点

これまでのように県が主導する期成会という団体に応分の負担をするのではなく、大分市の独自事業として予算計上する以上、実現性の裏付けを市民に示す必要があります。市長はそれを示すことができませんでした。今後、問題にせざるを得なくなると、わたしは委員会でも指摘をしています。

⑨公共施設(学校や公民館など)総合管理計画に対する市民コンセンサスを、どうやって醸成して行くつもりか？

市長答弁

施設の複合化や多機能化、管理運営手法などについて検討を行い、最適な配置を実現するための計画を策定する。市民アンケートやパブリックコメントなどを通して、市民コンセンサスの醸成を図っていく。

井手口の視点

箱物施設の統廃合は総論賛成・各論反対になりやすく、地域住民の皆さんの同意を得るためには時間をかけた丁寧な説明と、合意形成が需要です。そのために市議会も説明責任を果たしていきます。

⑩道路・橋梁・上下水道などの公共インフラマネジメントの緊急性、重大性、財政負担の大きさなどを、どのように考えているか？

市長答弁

現在、保有する施設の総量を把握し、経年の状況などから課題を整理している。今後、計画的に改修や更新を進め、保全にかかる経費を抑制するとともに、重大事故を未然に防ぐことが重要であると認識

している。

井手口の視点

上下水道などの公共インフラ施設は、市民の生活を直接支えているばかりでなく、一旦、問題が生じれば市民の生命財産を脅かします。

道路・橋梁の持つ危険性、上水道の持つ危険性、下水道の持つ危険性にはそれぞれの特性があり、それぞれに緊急性の高い行政課題です。



旭化成グループ労組の皆さんとゴミ拾いボランティアをしながら、道路の問題点などを見て回っています。

⑪地域の個店と市域全体の均衡ある商業空間を、どう維持し活性化していくつもりか？

市長答弁

商店街や個店の自助努力を基本としながら、多様な機能や役割を有する商店街の振興に資する支援策を展開して、市域の均衡ある発展と、本市全体の活性化を図っていく。

井手口の視点

大分市の商業拠点となる商店街の情勢は大きく変化しようとしています。中央通りの空間利用形態ばかりが注目されていますが、市民生活の利便性と地域経済の均衡のとれた発展の両面を考えれば、市域全体の商業地域振興は市政の重大なテーマです。特に周辺部の商店は、地域の生活を支えています。周辺部の商店街やそれらの個店が姿を消すことを、行政として放っておくことはできないと考えています。

⑫大分市の地場中小企業に対する今後の大分市の基本姿勢は？

市長答弁

本年4月から施行した「大分市中小企業振興基本条例」の理念に基づき、中小企業者の声を十分に聞きながら、多岐にわたる分野で効果的な施策の展開を図って、中小企業の経営を積極的に支援していく。

井手口の視点

本市には多くの産業が集積しています。その産業クラスター都市のピラミッド構造を底辺で、広範に支えているのが地元中小企業です。底辺が脆弱になれば、ピラミッド全体が崩壊します。

その中小企業が金余り経済の中、マネーゲーム、バーチャル経済、円安や消費税アップの波をもろにかぶって苦しんでいます。基礎自治体として、常に中小企業に寄り添い、同じ目線で見、同じ歩調で歩くべきと、わたしは考えています。



大分駅府内口（北口）広場ではドン・フランシスコ大友宗麟と聖フランシスコ・ザビエルが、人々を出迎えてくれます。

⑬市の経済浮揚策として、大分ブランドの創造と活用、それを情報発信することの重要性についてどのように考えているか？

市長答弁

市民の郷土に対する誇りの醸成、まちづくりや地域の経済浮揚、さらには他都市との連携にまで広く効果が波及していくものとして、大分ブランドの活用と情報発信を積極的に展開したい。

井手口の視点

地域ブランドを育て、それを全国、世界中に発信することは既に活発に行われています。

大分市は大友宗麟の時代、西洋に認知された国際都市として、京・博多にも勝るとも劣らぬ存在でした。今後ともこの大分市の歴史を、大分ブランドの共通コンセプトにして、情報発信していきたいと考えています。

その他、外郭団体の人事、市民協働、産業力強化

施策、農業の担い手支援策、インキュベーション事業などについても質問しました。

質問－ 2. 福祉保健行政

①子ども部を創設してはどうか？

市長答弁

昨年度設置した庁内検討委員会で協議している。子ども・子育て支援の充実を図るために、市民サービス向上の観点に立って検討していく。

井手口の視点

平成24年8月に成立した「子ども・子育て支援法」などのいわゆる子ども・子育て関連3法に基づき、本年度から「子ども・子育て支援新制度」がスタートしました。新制度に関わる国の監督官庁は内閣府、文科省、厚労省と多岐にわたり、その点でも他の福祉部門と性格を異にしています。わたしたちおおいた民主クラブは、これまでも（仮称）子ども部の創設を提案してきましたが、新制度の施行に伴って、子ども部を創設する必要性は更に大きくなったと考えています。

②精神障がい者支援事業を提供できる施設は限られているが、社会的なニーズは増加の一途をたどっている。精神障がい者支援事業者へ市として支援策や奨励策、補助などを充実させていく必要が有るのではないか？

市長答弁

精神障がい者のニーズが複雑化・多様化する中、障がい者の自立と社会参加に向け、直接サービスの提供に携わる職員を含めた障がい福祉サービス事業所の役割が重要であると認識している。支援体制の充実を図っていく。

井手口の視点

精神障がい者が他の障がいと大きく違うことは、可逆性だということ。それも、悪化と回復を何度も繰り返すこと、一見しただけでは回復期にあるのか増悪期にあるのか、経験豊かな介護者でも容易には判別できないということです。従って、精神障がい者一人ひとりへの個別の対応が必要となります。

精神障がい者支援事業を提供できる施設は限られています。一方で社会的なニーズは増加の一途をた

どっています。精神障がい者支援事業者への市としての支援策や奨励策、補助などを充実させていく必要が有ると考えます。

③子どもの貧困の連鎖の解消に向けた大分市の今後の取り組みについて、市長の見解は？

市長答弁

「生活困窮者自立支援対策連絡調整会議」に「子どもの貧困対策専門部会」を設置して、本市の子どもの貧困の現状や、他都市などの先行事例を調査研究することとしている。

今後とも貧困が世代を超えて連鎖することがないように努めていきたい。

井手口の視点

貧困率の状態にある家庭は母子家庭全体の、59%にもなります。母親が働いているにもかかわらず、母子家庭の子どもの貧困率は先進国の中で群を抜いて一番高いのです。

日本の母子家庭で、就業している母親は仕事を持たない母親の約5倍です。母子家庭の平均年収は約181万円しかありません。その5割以上が非正規雇用であり、多くの場合仕事を掛け持ちすることを強いられてもいます。ひとり親家庭の母親がいくら働いても、貧困から抜け出せないという先進国は日本だけなのです。その家庭の子どもたちへの貧困の連鎖だけは、どこかで断ち切らなくてはなりません。

その他、シルバー人材センターの社会福祉協議会への統合、生活困窮者自立支援事業について質問しました。



拉致被害者の早期救出のための街頭活動に参加しました。

質問－3. 環境行政

①清掃工場・最終処分場の将来計画は？

市長答弁

佐野清掃工場の稼働期間は平成34年度末まで、福宗清掃工場が平成38年度末までと予定している。近い将来の建て替えに向けて、今年度中にゴミ排出量の将来予測を行い、検討を進めていく。鬼崎埋立場の残余年数は約40年程度と考えているが、今後とも可能な限り埋め立て量を減量することにより延命化に努めたい。

②汚水処理場の最終処分工程として出る汚泥の後処理について、今後いつまでに、どのような方法で、汚泥の処理と事業化の方法を決めていくのか？

市長答弁

下水汚泥の処理方式は技術革新も著しいことから、今後の報告も踏まえ、できるだけ早い時期に方向性を決定していきたい。

井手口の視点

清掃工場の建て替えも、下水処理から出る汚泥の処理も、多大なコストがかかる上に失敗の許されない事業です。迷惑施設ですから、誰でも近くにつくって欲しくないでしょう。それを市民の皆さんと共に、わたしたちの暮らしや生活スタイルそのものを含めて、考えて行かなくてはなりません。

質問－4. 教育行政

①学習の準備段階である就学前教育や小学校低学年において、互いに連携しつつ感性教育を充実させていくつもりはないか？

教育長答弁

感性教育は就学前から小学校以降の教育において、子どもの発達に応じて取り組むことが必要と考える。校区ごとに設置された「幼保小連携推進協議会」の活用により、担当者相互の共通理解を図っていく。

井手口の視点

感性教育の重要性をこれまでも機会あるごとに訴えてきました。今年は8月22日に大分市で神瀬教育学会の全国大会が開催されます。

②芸術文化創造都市を展開することも視野に入れながら、今後、OPAMとの連携について、どのよう

に考えているのか？

教育長答弁

両館で大分アートフルロード実行委員会を組織して、各種事業の展開を図っていく

井手口の視点

市美術館と県立芸術会館には連携して事業を行うための実績がありました。県立美術館ができて、開館記念展でにぎわっていますが、この盛況が過ぎた時、両美術館が共倒れすることがないように、今から連携・協働の機運を作っていく必要があると何度も訴えています。



仙台市のアリーナは企業との協働（PPP）手法で、市はほとんど借金をせずに建設しました。

③大分市のアリーナ構想の今後の方針についてはどうなっているのか？

教育長答弁

昨年度末に公表した本市の「アリーナ構想」における専用武道場は、県が表明した県立屋内スポーツ施設で充足できると認識している。その他の機能については、今後県との協議において方向性を見極めていく。

その他、感性教育の成果の評価方法、大分市美術館の収蔵品収集方針と年間パスポートの有効期限問題などについても質問しています。

以上4つの、約30項目について佐藤新市長と三浦新教育長の基本的な考え方を聞きました。

この会報はワークスペース「樫の木」、小規模作業所「どんぐりの家」の皆さんに、折り加工と封入作業をお願いしています。



最終日に反対討論のために登壇しました。

議会最終日討論（わたしの発言）の要旨

（憲法を否定する安倍政権の姿勢への反対討論です。）

平成27年請願第4号「安保関連法案に反対する意見書提出方について」に関する委員長報告に対する反対討論です。

昨日「安保関連法案」は衆議院の議決を経て参議院に送付されました。この法案について、6月4日に開かれた衆院憲法審査会において、自民党が推薦した憲法学者が、集団的自衛権の行使は「憲法違反」であると述べています。法案の提出者である政権与党側の推薦した参考人までが、国会が正式に召集した憲法審査会で、法案が違憲であり、現政権に許容されている憲法解釈の範囲を逸脱したものであるとの意見陳述したにも拘らず、安倍政権は安保関連法案を強行採決しました。

政権に委ねられた国民の負託は、現行憲法の範囲内でなされるものであり、憲法の本質並びに条文の勝手な解釈まで委ねているわけではありません。現政権が憲法を恣意的、好き勝手に解釈変更することを許すということは、今日の日本の国の在り方の基本である、立憲主義、民主主義そのものを崩壊させることにほかなりません。

さらに歴代の内閣法制局長官職経験者も、口をそろえて、今回参議院に送られた安保関連法案について「違憲である」と言明しています。これを大分市議会に置き換えてみるならば、我々が条例案を提出するときに、議会事務局の法規担当者が、上部法などに抵触していると指摘した条例案を、そのまま強引に議会に上程することであり、議会人としての常

識を欠く、許すことのできない暴挙と言わざるを得ません。

わたしもおおいた民主クラブは、法案の提出者の側から出た参考人でさえ違憲とする「安保関連法案」を、一旦廃案にすること、その上で同法案が違憲とされる部分について、憲法を改正しても成立させることが必要だと、安倍政権が考えるのであれば、速やかに改憲国会を召集して、憲法改正について慎重に論議を重ねた上で、その結論を国民に発議すべきであると考えます。

この請願第4号はその趣旨において、わたしどもの考え方と基本的に同じ方向性にあると判断し、採択すべきと考えます。

従って、平成27年請願第4号「安保関連法案」に対する意見書提出方についての委員長報告に反対します。

以下、平成27年請願第5号「平和安全法制整備法案と国際平和支援法案は慎重に審議し廃案を求める意見書提出方について」、および平成27年請願第6号「戦争につながる安全保障関連2法案（国際平和支援法案、平和安全法整備法案）の廃案を求める意見書提出方について」に対しましても、同様の基本的な立場から委員長報告に反対致します。



荒川区役所で区民幸福度事業について説明を受けました。

- 18日（月）～20日（水）
総務常任委員会行政視察
東京都荒川区（荒川区民総幸福度）
宮城県仙台市
（津波避難タワー・海岸公園再整備事業）
- 21日（木） おおいた民主クラブ例会
- 23日（土） 上野ヶ丘中学校体育祭
- 28日～30日 会派政務調査視察
日本自治創造学会2015年度研究大会
横浜ボートピア・平和島外向き発券場視察

6月

- 4日（木） 倉敷市議会運営委員会視察対応
- 9日（火） 県議会県民クラブ主催デスティネーション・キャンペーン説明会
- 12日（金） 議会活性化推進会議
- 21日（日） 大分県腎臓病協議会定期総会
- 22日（月） 会派代表者会議
議会運営委員会
議員政策研究会役員会
- 23日（火） 優良工事事業者表彰式
- 25日（木） 上野ヶ丘地区青少年健全育成協議会
- 29日（月） 平成27年第2回定例会本会議

7月

- 1日（水） 議会運営委員会
- 2日（木） 議会活性化推進会議
- 6日（月） 本会議（代表質問）
（自民党・社民クラブ）
- 7日（火） 本会議（代表質問）
（公明党・新市民クラブ）
- 8日（水） 本会議（代表質問）
（おおいた民主クラブ）
（共産党・新政クラブ）
議会防災会議運営会議
- 9日（木） 本会議（一般質問）
- 10日（金） 本会議（一般質問）
- 13日（月） 本会議（一般質問）
- 14日（火） 総務常任委員会
- 15日（水） 議会運営委員会
総務常任委員会
- 16日（木） 総務常任委員会
- 17日（金） 本会議（議決）
議会運営委員会
議会防災会議総会
- 23日（木） 喜多方市議会運営委員会視察対応
旭町文化センター人権講演会

議員活動報告

（平成27年4月1日～7月31日）

4月

- 1日（水） 議員共済協議会
- 6日（月） 議会活性化推進会議
- 9日（木） 上野ヶ丘中学校入学式
- 10日（金） 金池小学校入学式
- 13日（月） 総務常任委員会
- 14日（火） 金池幼稚園入園式
- 22日（水） 議会活性化推進会議
- 27日（月） おおいた民主クラブ例会
- 30日（木） 帆秋病院落成記念式典来賓出席

5月

- 1日（金） 議会運営委員会
- 11日（月） 議会運営委員会
- 12日（火） 臨時議会本会議
- 14日（木） 同和問題協議会
金池校区青少年問題協議会総会
- 15日（金） 議会活性化推進会議

- 24日(金) 大分市人権講演会
 27日(月) 議会活性化推進会議
 28日(火)～30日(木)
 おおいた民主クラブ会派成長視察
 広島県福山市(福山市産業振興事業)
 福井県福井市(福井まちづくりセンター)
 (ディスカバリー・一乗谷プロジェクト
 事業)



イオングループ労連の仲間の皆さんと実際に本会議場を使って模擬議会を行いました。

本年度の大分市の財政から

大分市の本年度予算

◆一般会計合計	1,672億2,400万円
◆特別会計合計	1,030億7,000万円
(内 国民健康保険	612億1,700万円)
(介護保険	341億6,300万円)
(後期高齢者医療	48億9,900万円)
(その他	27億9,100万円)

◆水道事業会計	175億7,000万円
◆下水道事業会計	224億5,700万円

注-1: 全ての会計を合計すると3千億を超える額になりますが、実際は会計間で繰り出し金などのやり取りがあり、そのまま合計の数字になるわけではありません。

新市長の主な新規事業

◆新総合計画策定事業	480万円	◆道路構造物点検調査事業	3,000万円
◆ホームページリニューアル事業	1,700万円	◆連携中枢都市圏構想推進事業	1,000万円
◆上水道未整備対策事業	2,520万円	◆府内町駐輪場社会実験事業	239万円
◆在宅医療多職種連携支援事業	613万5千円	◆空き家対策事業	1,200万円
◆幼稚園ホール室空調機設置事業	2,000万円	◆大分城址公園整備・活用事業	1,000万円
◆大分市創業者応援事業	2,500万円	◆国際スポーツ誘致推進事業	813万円
◆中小製造業設備投資補助事業	3,060万円	◆その他23事業	6,606万円
◆中小企業フレッシュマン育成支援偉業	1,500万円	合計 40事業	(予算合計3億1,531万5千円)
◆宝の町・豊後FUNAI芸術祭	1,600万円		
◆水素エネルギー活用策調査事業	500万円		
◆公金収納業務導入事業	1,200万円		

他に豊予海峡ルート経済・社会的効果等の調査事業のための債務負担行為として1,000万円を計上している。

大分市の借金

2014年度予算中の新たな借金			
(2013年度末見込み)	◆一般会計(市債)	156億6,000万円	2014年度中の借金の返済額
◆一般会計	1,821億3,800万円	◆特別会計(借入金)	19億2,400万円
◆特別会計合計	18億6,100万円	◆特別会計(市債)	800万円
◆水道事業会計	283億6,400万円	◆水道事業(企業債)	19億 500万円
◆下水道事業会計	933億3,800万円	◆下水道事業(企業債)	37億 400万円
合計	3,057億 100万円	合計	232億 100万円
		合計	288億1,800万円

今までの借金合計と本年度の新たな借金の合計から本年度の返済額を引いた本年度末の見込み額は3,000億8,400万円

あすなる

「あすなる」第59号

ご挨拶 良友会の皆様へ

県知事選、市長選を通じて良友会の皆様には本当にお世話になりました。本当にありがとうございました。またお世話になりながら所期の結果を残せなかったことにつきましてはお詫び申し上げなくてはなりません。誠に申し訳ありませんでした。選挙後のわたしの立場について、ご心配をおかけしていますことにつきましては申し訳なくも有難く思っております。

わたしは今、大変感慨深いものを感じています。16世紀の南蛮文化都市時代の大大分であれば、わたしは敗残の兵の一人として、首と胴を切り離され、胴体は戦場に打ち捨てられたまま、首は当時六坊にあった獄門台の上で、カラスに目玉をほじくられていたことでしょう。21世紀の民主主義の世であればこそ、そのさらし首になっていたはずの者が会派を代表して、堂々と登壇して質問できるので有難いものです。

この平和で民主的な社会がいつまでも続くことを願ってやみません。そのためにもわたしの使命は、これからも市議会議員として活動していくことだと改めて肝に銘じています。

実は選挙中から、現職県知事に刃向うような市議会議員を応援できないとおっしゃった支援者も少なからずおられました。その方たちにはこれまでご支援いただいたことを改めて感謝しています。わたしとしては、今後とも市議会議員として頑張ることをお伝えするしかありませんでしたが。これからは大変厳しい茨の道を歩くことを覚悟しながら議員活動に邁進していきます。

良友会の皆様には、どうかこれまでと変わらぬご支援とご鞭撻を頂けますよう、心よりお願いいたします。

井手口良一

コラム 第13回「絶滅危惧語辞典」

五月蠅い

五月蠅いという言葉は不思議だ。五月のハエがなぜ煩いのか、少なくとも現代に生きるわたしたちには、理解しにくい。五月のハエなど都会にいる限り「うるさい」というより「めずらしい」という読みを当てたいくらいである。

今年の梅雨は例年以上に雨が多かった。古語の時代の5月とは新暦の6月であり、梅雨の真っ最中である。わたしたちの子どもの時代、梅雨の頃に台風が来ると集中豪雨となって、床下浸水が頻繁に起こった。水が引くと市役所から噴霧機を載せた車が来て町内を消毒してくれた。あの消毒の無かった時代、まだ汲み取りばかりの頃だから、どれだけハエが飛んだかと思うと、この言葉も実感できる。

言葉は使われていくものの、そのもととなる生き物の方はいなくなってしまうという事の格好の例であろう。

政治家

政治家という言葉が絶滅危惧だということと意外に思われるかもしれない。しかし、わたしは最も絶滅の危険性の高い言葉ではないかと危惧している。では、あのテレビに登場している人々は何なのかと聞かれれば、これからの日本では「政治タレント」「政治アイドル」あるいは「政治芸人」という事になる。

ついでに言えば政党という言葉も絶滅危惧種であり、むしろ政治プロダクションという看板の方が実を表わしている気がする。

政治芸人などというと芸人家業の人々に怒られそうであるが、「芸人が政治家になって活躍する」ことは歓迎したい。才能さえあれば芥川賞だって受賞することができるのだ。問題は「政治家が芸人化する」ことだろう。まして、政党が政治家集団ではなく、タレントや芸人を国会や地方議会に派遣するプロダクションになってしまえば、この国は立ち行かまい。

政治家が絶滅して困るのは国民である。その国民がタレントやアイドルや芸人の人気投票のノリで政治家を選んではいないか、わたしたち一人ひとりが胸に手を当てて考えなくてはならない時が来ている。

後援会などの活動日誌

(平成27年4月1日～7月31日)

4月

- 28日(火) 赤十字奉仕団委員会
- 29日(水) 連合大分メーデー
- 30日(木) 帆秋病院落成記念式典

5月

- 1日(金) 一土こん会月例会
- 7日(木) 獺友会中央支部総会
- 8日(金) 野分会総会
- 10日(日) 東北大震災支援コンサート
- 11日(月) 交通安全やまびこ運動(金池交差点)
- 14日(木) イオン九州労組支部長会議
- 16日(土) 生と死を考える会総会
- 17日(日) 大分県詩人協会総会
- 24日(日) スポーツチャンバラ大分県大会
大分市美術館講演会
- 25日(月) 連合大分街頭活動(街頭演説)
- 26日(火) 詩誌心象役員会

6月

- 1日(月) 連合大分議員懇談会総会
- 5日(金) 旭化成労組地域美化運動
一土こん会月例会
- 11日(木) UAZまちづくり委員会
- 14日(日) 金池町1・2・3丁目町内会総会
- 17日(水) UAZ大分県支部運営評議会
- 21日(日) 詩誌心象合評会・編集会議
- 24日(水) UAZ青年女性委員会ボウリング大会
- 26日(金) UAZ大分県支部政治活動研修会
- 27日(土) NPO法人ホビータム理事会・総会
- 28日(日) UAZ青年女性委員会ボウリング大会

7月

- 12日(日) UAZ九州ブロック議員団会議
- 14日(火) 感性教育学会大分県支部月例会
- 15日(水) 交通安全やまびこ運動(金池交差点)
- 24日(金) 交通安全やまびこ運動(金池交差点)
イオン九州労組支部長会議
- 26日(日) UAZ拉致被害者支援街頭活動
- 27日(月) イオングループ労連エリアフォーラム

会費 一般会員 (年間・1口) 1,000円

賛助会員 (年間・1口) 10,000円

良友会名義の口座番号(普通預金)

- 大分銀行 上野支店 「いでぐち良一後援会」良友会 5036576
- 豊和銀行 上野支店 「いでぐち良一後援会」良友会 1035694
- ゆうちょ銀行 「いでぐち良一後援会」良友会 17290-12491381
- 大分県信用組合 津留支店 「いでぐち良一後援会」良友会 4041214

良友会の運営は会員の皆様がたからの会費とご寄付によってなされています。いつも皆様の過分のご協力に感謝いたしております。ありがとうございます。

いでぐち良一後援会「良友会」
大分市議会議員 井手口良一

平成26年度良友会会計報告

(平成26年1月1日～12月31日分)(政治資金規正法に基づいて平成27年3月に大分県選挙管理委員会に提出した報告書を要約したものです)

収入	前年度繰越金	1,710,572円
	会費(1,000人分)	1,382,000円
	政治団体からの寄付	0円
	個人からの寄付金	310,000円
	雑収入	386円
	合計	3,402,958円
支出	事業費	
	あすなろ印刷費・発送費	491,090円
	その他の事業費	1,980円
	活動費	
	後援会活動費	134,800円
	調査研究費	
	研修費	53,860円
	書籍購入費	16,758円
	合計	70,618円
	諸費	18,819円
	人件費	0円
	事務所費	
	事務所費(家賃など)	632,534円
	光熱水費	50,740円
	備品・消耗品費	192,978円
	合計	1,593,559円
	平成27年度への繰り越し	1,809,399円

後援会事務所においての際は、議会・委員会や出張などもありますので、事前に電話かメールでお知らせください。



編集
後記

市長選があり、新市長が当選した関係で第2回定例議会が7月17日まで開かれていたため、今回は発行日を8月1日とさせていただきます。次号は元通り10月1日付で発行いたします。今後ともよろしく願っています。(I)

〒870-0841 大分市六坊北町4485-5

☎ 097-545-3458

Fax 097-545-3477

E-mail kakashi@sweet.ocn.ne.jp